サポート調査票（就学児）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記入日　令和　　年　　月　　日

児童名：　　　　　　　　　　　　年齢：　　　歳　　　　　　記入者〔　父　・ 母 ・ その他（　　　　　）〕

項目ごとに該当する□にチェックをし、ご返送ください

|  |  |
| --- | --- |
| 調査項目 | 判断基準 |
| 1. 食事
 | □**自立**食事の開始から終了まですべて一人でできる | □見守りや声かけ、おかずを刻むなどの**一部介助**が必要 | □**全面的に介助**が必要 |
| 1. 排泄
 | □**自立**すべて自分で済ませることができる | □見守りや声かけ、便座に座らせる、拭き直しなど**一部介助**が必要 | □１週間に１回以上おむつ等を使用するなど、**全面的に介助**が必要 |
| 1. 入浴
 | □**自立**すべて自分で済ませることができる | □身体を洗うなど**一部介助**が必要 | □**全面的に介助**が必要 |
| 1. 移動
 | □**自立**外出において、一人で安全に移動できる例）一人で安全に学校や公園へ行って帰ることができる。 | □見守りや声かけ、手を貸すなど**一部介助**が必要 | □常時手をつなぐ、抱っこ、バギー、車イスを使用するなど、**全面的に介助**が必要 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 判断基準 | 具体例 | 頻度 |
| 0点 | １点 | ２点 |
| 1. 大声を出す
 | ・周囲が驚いたり、他者が迷惑となるような大声や奇声を出す。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |
| 1. 多動・行動停止
 | （多動）マイペースに周囲と無関係に動いてしまう。一箇所に留まることが難しい。 | （行動停止）本人の意思とは関係なく、次の行動に移ることが難しい。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |
| 1. 不安定な行動
 | ・突然の予定変更があると次の行動ができなくなる。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |
| 1. 突発的な行動
 | ・気になる事があると、手をつないでいても手を振り切り、気になる方へ行ってしまう場合がある。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |
| 1. てんかん
 |  | □支援不要 | □経過観察服薬対応までないが、てんかんの経過観察を行っている | □希に□月1回程度以上□てんかんの診断がある。（薬で発作を予防している場合も含む） |
| 1. 異食行動
 | ・おもちゃや服の袖を噛むなど食べ物以外のものを口に入れる。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |
| 1. 過食・反すう等
 | ・過食、拒食がある。口に入れたものを飲み込めず、口に溜めたままにする。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |
| 1. 昼夜逆転

（睡眠） | ・睡眠リズムが崩れやすく昼夜逆転。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |
| 1. 自らを傷つける行為
 | ・自分の体を傷つける行為がある。 | □支援不要＜　　　裏面あり　　　＞ | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 判断基準 | 具体例 | 頻度 |
| 0点 | １点 | ２点 |
| 1. 他人を傷つける行為
 | ・他人を傷つける、物を投げたり等他人を傷つける行為がある。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |
| 1. 不適切な行為
 | ・見知らぬ人に対し、過度に親しげな振る舞いをする。・他人との距離が近すぎる。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |
| 1. そううつ状態
 | ・気分が憂鬱または高揚により日常生活・社会生活に支障が生じる。・声かけをしないと気持ちの切り替えができない。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |
| 1. 反復的行動
 | ・物や行為にこだわり特定の行為を繰り返す。・自分の気になることを、何度も聞き返す。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |
| 1. コミュニケーション
 | ・人に話しかけることができない。人見知りがある。・新しい場所や初めての人でも口頭で自分の意思が伝えられる。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある。／手話や筆談など会話以外の方法で伝える／家族や慣れている人のみ可能 | □できない□判断が困難 |
| 1. 説明の理解
 | ・他者からの説明の理解に、どの程度支援しているか。・わかりやすい言葉を使う、ゆっくり話すなどの対応が必要。 | □支援不要／説明に伴った行動ができる。 | □支援が必要な場合がある。／手話や筆談など会話以外の方法で伝える | □理解できない□判断できない□日常のパターン化された行為のみ理解可能（食べる・寝る等） |
| 1. 対人面の不安緊張、集団生活への不適切
 | ・対人面の不安緊張、感覚過敏、集団への不適応又は引きこもり。・新しい場所になれない。・集団行動が難しく、声かけなどの支援が必要。 | □支援不要 | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日□集団行動参加には、大人の促しを要する。 |
| ㉑ 読み書き | ・授業や宿題の際に、読み書きに関して支援（フォロー）が必要。 | □支援不要／本や教科書を一人で読める／文章をかける | □支援が必要な場合がある | □週1回程度以上□ほぼ毎日 |

備考

**以下の欄は職員が使用します。**

**個別サポート加算（Ⅰ）**(　　　　 　点)(⑫昼夜逆転を除く)**□ 該当　　　□ 非該当**

サポート調査は、通常の発達の範囲内かどうかを問わずに純粋に介助等の要否を付ける。

以下の１又は２に該当すること

1. ①～④のうち３以上が全介助 　　　　　 ２．⑤～㉑の合計点数が１３点以上　(⑫昼夜逆転を除く)

**児童区分**給付決定時調査は、通常の発達において必要とされる介助等は除く。

|  |  |
| --- | --- |
| ３ | ①～④で「全介助」が３項目以上　又は、⑤～㉑で「ほぼ毎日（週５日以上）支援や配慮等が必要」が１項目以上 |
| ２ | 1. ～④に「全介助」若しくは「一部介助」が３項目以上　又は⑤～㉑で「週に１回以上」が１項目以上
 |
| １ | ３又は２に該当せず、①～④のうち「一部介助」又は「全介助」が１項目以上 |